

Julabo Case Study 31

JULABO Presto W80

10Lのガラス反応容器で
-50°Cから+100°Cの加熱、冷却運転。



目的:

このケーススタディは10リットルガラスリアクターを使い、JULABO Presto W80の加熱、冷却能力をテストします。W80は1mの金属配管によって接続されています。温度は、-50 °Cから+100 °C間で運転します。

環境:

室温 +20°C
湿度 45%
電源 230V/50Hz

試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESUTO® W80
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 1.2kW -20°C 1.1kW
ヒーター容量	1.8kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	10Lガラス製反応容器(Normag) (容器内にはユラボ社製サーマルHL80を 10L充填しています)
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果:

次のページの表を参照してください。
2時間で-50°Cから+100°Cへ過熱しました。
オーバーシュートすることなく+100°Cに達しました。
2時間30分で+100°Cから-50°Cに冷却しました。
-50°Cにオーバーシュートすることなく達しました。

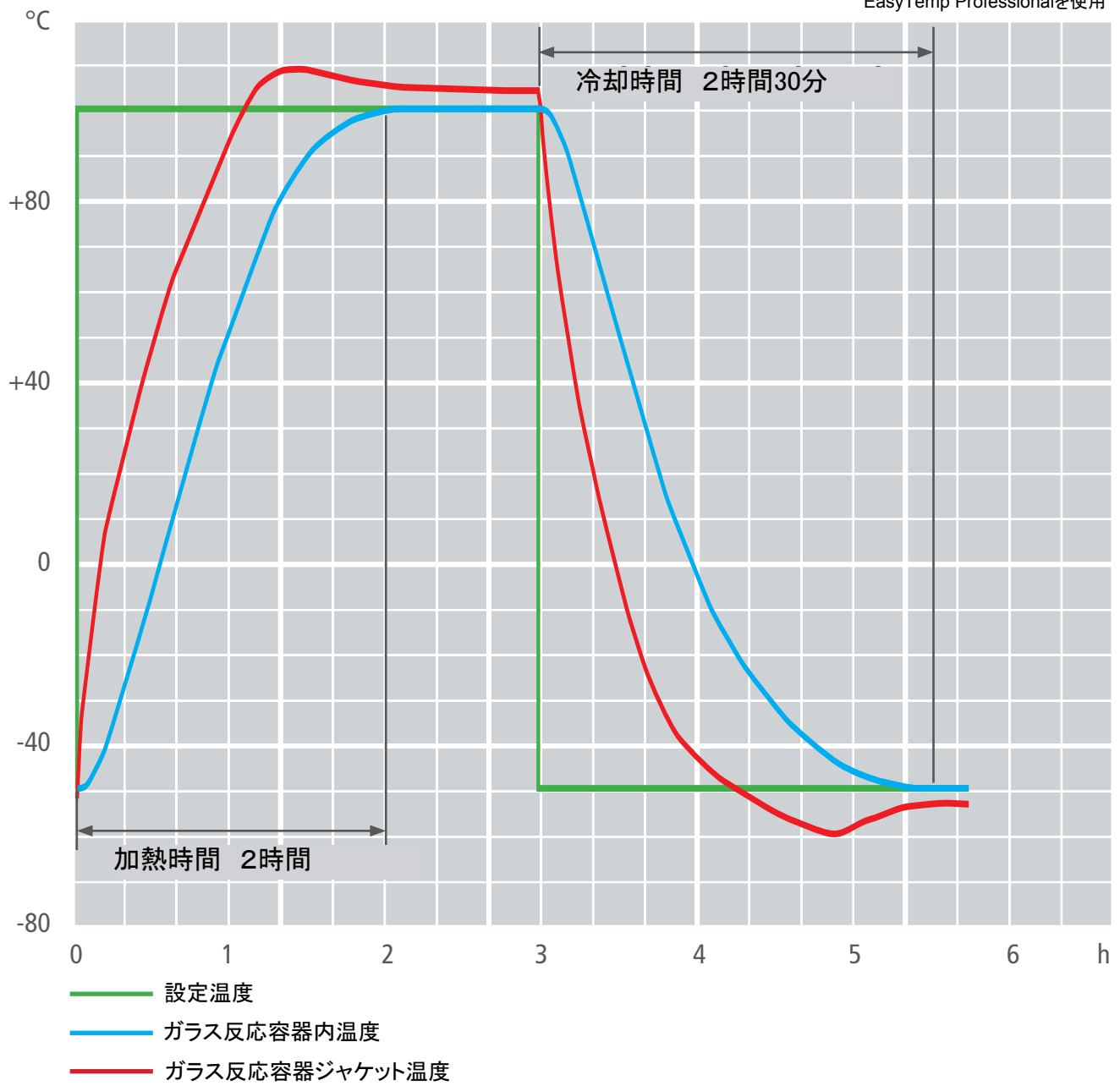
その他機能:

ポンプ圧調節機能も搭載
PRESTOには希望のポンプ吐出圧に設定が可能です



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0

EasyTemp Professionalを使用



JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0